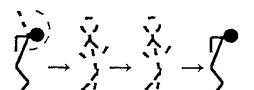


# 体力検査実施要領

【男子】

【沖与消防本部】

種 目	実 施 方 法	要領及び使用器具
反復横飛び	<p>1 中央線をまたいで立ち、「始め」の合図で、サイドステップで右側の線をまたぎ（踏んでも可），次に中央線に戻り，さらに左側の線をまたぐ（踏んでも可）。</p> <p>2 20秒間実施し，それぞれの線を通過するごとに1点とする。 (右，中央，左，中央で4点となる。)</p> <p>注1 足が外側の線に触れなかったり，超えなかったとき，また中央線をまたがなかったときは点数に数えない。</p> <p>注2 左右のラインは，中央線から両側120cmの平行線とする。</p>	 * ストップウォッチ
立位体前屈	<p>1 両足を揃え，かかとをつけて足先を約5cm開いて台上に立つ。</p> <p>2 両手を揃え，指先を伸ばして膝を曲げず，徐々に上体を前屈する。</p> <p>3 記録は，「cm」単位とし，未満は切り捨てとする。 (床面(0)より下を(+)，上を(-)とする。)</p> <p>注1 反動をつけないこと。</p> <p>注2 左右の指先位置が異なる時は小さい方の値とする。</p>	 * 体前屈計 (左右の指先が測定できるもの)
立三段跳び	<p>1 踏切ライン手前に立ち，両足で踏み切って，片足で跳び，さらに逆足で跳び，両足で着地する。</p> <p>2 記録は，「cm」単位とし，未満は切り捨てる。</p> <p>注 踏切は，両足踏切とする。(反動をつけてもよい)</p>	 * 卷尺
握 力	<p>1 右左交互に2回ずつ測定する。</p> <p>2 記録は，左右それぞれ良い方の記録の平均値とする。</p> <p>3 測定及び記録はともに「kg」単位とし，未満は四捨五入とする。</p> <p>注 測定中握力計を衣服や身体に触れてはいけない。</p>	 * 握力計
懸 垂	<p>1 肩幅の広さで順手でぶら下がる。</p> <p>2 鉄棒から下あごが完全に上がるまで身体を引き上げ，次に肘を十分に伸ばし，ぶら下がる。</p> <p>3 鉄棒から下あごが完全に上がった状態を1回とする。</p> <p>注1 身体を振って運動してはいけない。</p> <p>注2 肘を完全に伸ばした後，身体を引き上げる。</p>	 * 鉄棒 (足がつかないこと)
上体起こし	<p>1 仰臥姿勢で両膝を立て，両手を頭の後ろで組み，両肘が両膝に触れるまで上体を起こし，再び背中（肩胛骨下部）が床に触れるまで倒す。</p> <p>2 30秒間実施し，両肘が両膝についた回数を1回とする。</p> <p>注 補助員は，実施者の前で両足首をしっかり押さえ，声を出さずに回数を数える。</p>	 * ストップウォッチ * マット等
1,500m走	<p>1 記録は，秒単位とし，秒未満は四捨五入する。</p>	 * ストップウォッチ

(注) 年齢により得点の基準が違います。